

1 加古川専売所通信 vol.56

12月16日(水)記事より

東京五輪 聖火リレー 兵庫、通過14市変更なし

東京五輪・パラリンピック組織委員会は、大会前に実施する五輪聖火リレーを延期前の計画と同じ全国859市区町村で実施すると正式発表した。3月25日に福島県のサッカー施設「Jヴィレッジ」出発し、東京・国立競技場で開会式が行われる7月23日まで47都道府県を121日間で回る。

兵庫県は5月23日、24日に聖火リレーを実施する。詳細なルートは調整中だが、当初の予定されていたルートを極力変えない方針だそう。23日、24日の最終地点で催される行事“セレブレーション”の会場も変更はなし。

23日に聖火が通過するのは、豊同市→朝来市→宍粟市→加東市→小野市→加古川市→姫路市。姫路城の三の丸広場でセレブレーションがある。宍粟市の音水湖や、加古川市の古刹・鶴林寺などを通過予定。

24日は神戸市→明石市→南あわじ市→西宮市→尼崎市→三田市→丹波篠山市。南あわじ市の慶野松原や西宮市の阪神甲子園球場などを通過予定。2日目のセレブレーション会場は篠山城三の丸広場。姫路市と丹波篠山市のセレブレーション会場では、ご当地の伝統芸能が披露される予定。会場での感染症対策などについては県や両市が協議中。

12月20日(日)記事より

氷丘公民館で「しめ縄作り教室」

清水さんに教わりながら、子ども達がしめ縄作り挑戦。平荘小学校4年の松本さんは「初めて作ったけど、百点満点で90点の出来かな。家の玄関に飾りたい」と笑顔。



12月24日(木)記事より

交通安全啓発犬「ラビ」

加古川署から交通安全啓発犬の委託を受ける小型犬「ラビ」。県内で最も早く終業式が行われた稲美町で23日、飼い主の井口さんと共に、サンタクロース姿で通学路の安全を見守った。

飼い主の井口さんは40年以上前から通学路の見守りを始め、4年ほど前からラビがパートナー。

自転車で登校していた稲美中2年の遊本さんは「本当にかわいくて、3学期も会えるのが楽しみ」。井口さんは「子どもたちの喜ぶ声を聞き、ラビもうれしそう」と話した。



12月16日(水)記事より

加古川中生 備後天満神社で巨大絵馬制作

加古川中学校の美術部が、地元の備後天満神社で丑の巨大絵馬と、学割の神様 菅原道真の顔出しパネルを制作。部員30名が平日の放課後1時間と土曜の午前中に交代しながら描いたもので、12月20日から1年間、拝殿前に飾られます。

絵馬のデザインは宮総代の松本さん、絵は部員が描き、脇には新型コロナウイルスの感染終息を願いながら「悪疫退散 家内安全」と力強く書いた。顔出しパネルのデザインは権備宣の田中さん、「合格祈願」の文字とともに、座った道真を部員が描いた。

「こんなに大きな作品をみんなで協力して作るのは初めて。いい思い出になった」と美術部部长大川さん(2年)。松本さんは「コロナで触れ合いが減っているので、いきいきとした中学生の顔を見られて良かった」と話した。



コロナでも飲酒運転多発

加古川署管内(加古川市、稲美、播磨町)で2020年、飲酒運転で検発されたのは、新型コロナウイルスの拡大で外出自粛期間があったにもかかわらず、11月末時点で前年よりも6件多い90件だった。同署では飲酒運転撲滅へむけて啓発活動に力を入れている。

啓発ポスターの掲示を依頼する加古川署員。ポスターにはお笑いコンビ「ミルクボーイ」が「それやったらStop! 飲酒運転やろ!」と笑って話している。

12月25日(金)記事より



ヒートショック予防のポイント

- ・脱衣所、浴室を暖めておく
- ・風呂の温度を熱くし過ぎない(41度より低く)
- ・かけ湯で体を慣らす
- ・食事や飲酒後の入浴は控える
- ・入浴前後に水分を取る
- ・入浴することを家族に伝え、家族が定期的に声を掛ける

ヒートショックにご用心!!

ヒートショックとは一 体が急激な温度変化を受けて、血圧が大きく変化し、それが原因となって起こる健康被害のことです。脳出血や脳梗塞、心筋梗塞など深刻な症状を引き起こします。特に冬場、お風呂に入ろうとしている時によく起こります。

どんな時に起こるのか一 暖房の効いた暖かい部屋から、寒い脱衣所に移動すると、血管が縮んで血圧が上がります。そして服を脱ぎ、冷えたお風呂場へいくと、更に血圧は上がります。その状態で温かい湯船に浸かると...体温は急激に上がり、血圧は急低下してしまいます。すると、脳出血や脳梗塞などを引き起こしたり、貧血状態となって倒れて頭を打ったり、湯船でおぼれたりしてしまいます。

特に高齢者は注意が必要で、加古川市消防本部管内(加古川市、稲美、播磨町)では2019年、お風呂場や脱衣所での救急要請は209件、そのうち155件が65歳以上の高齢者でした。そして58人が亡くなっていますが、うち53人が高齢者です。

なかなかお風呂から上がってこないで、家族が見に行ったら溺れていた一という事は、実際に起きています。

どうすれば防げるか一

- ① まず脱衣所、お風呂場を暖めて、温度差をなくす
(ヒーターで暖める) (お風呂を漬かす時にフタを開けておく)
(シャワーで湯船にお湯をはったり、シャワーのお湯を壁にあてて暖めるのも効果あり)
- ② 湯船のお湯は41度以下に
(かけ湯をして徐々にお湯の温度に体を慣らすことも大切です。)
- ③ 食事や飲酒の後は血圧が下がりやすいのでお風呂には入らない
- ④ 入浴前と後は、水分を取る
- ⑤ お風呂に入る前は、家族に「今から入るで」と声かけを
(万一体調を崩しても、家族が早く気付けば助かる可能性があります)

ヒートショックは肥満なで基礎疾患のある人は、特にリスクが高いとされています。また寒い日は続きます。ご用心ください!!



ずたっふのつぶやき @kakogawasenbashi · 1時間

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。m(_)_m

